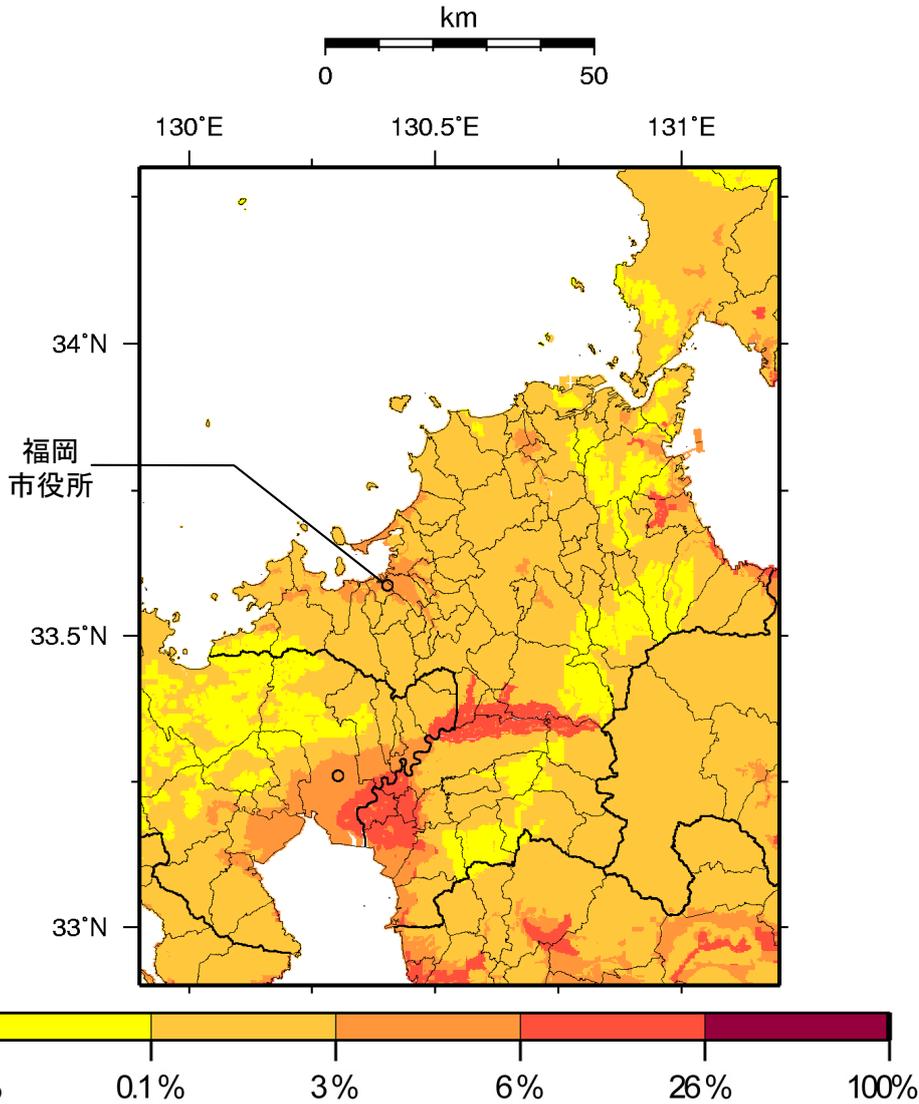
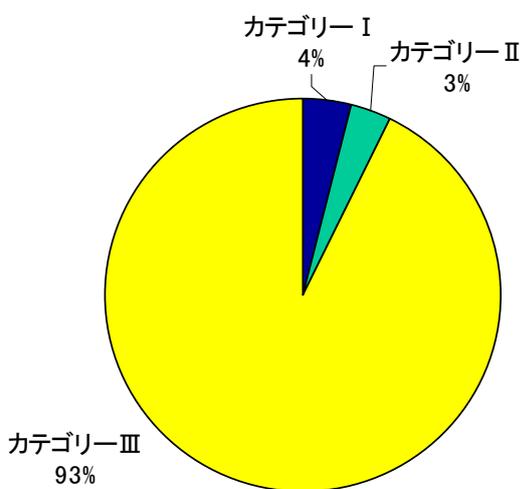


# 福岡県



今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）



## 地図概況

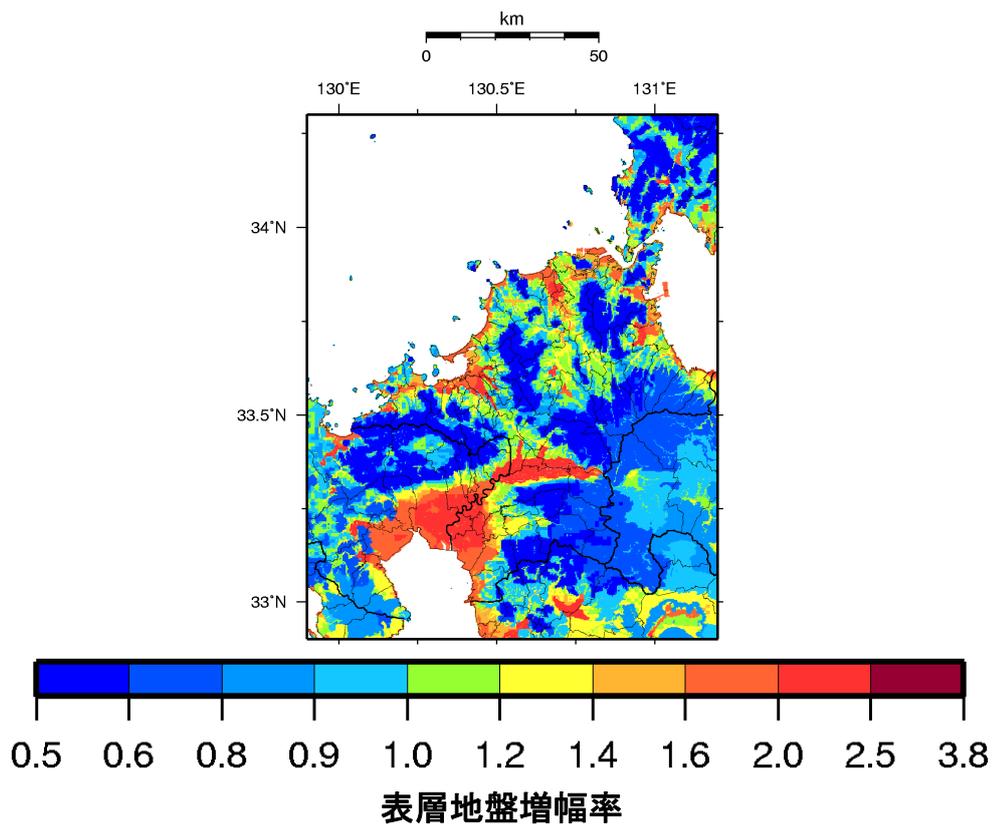
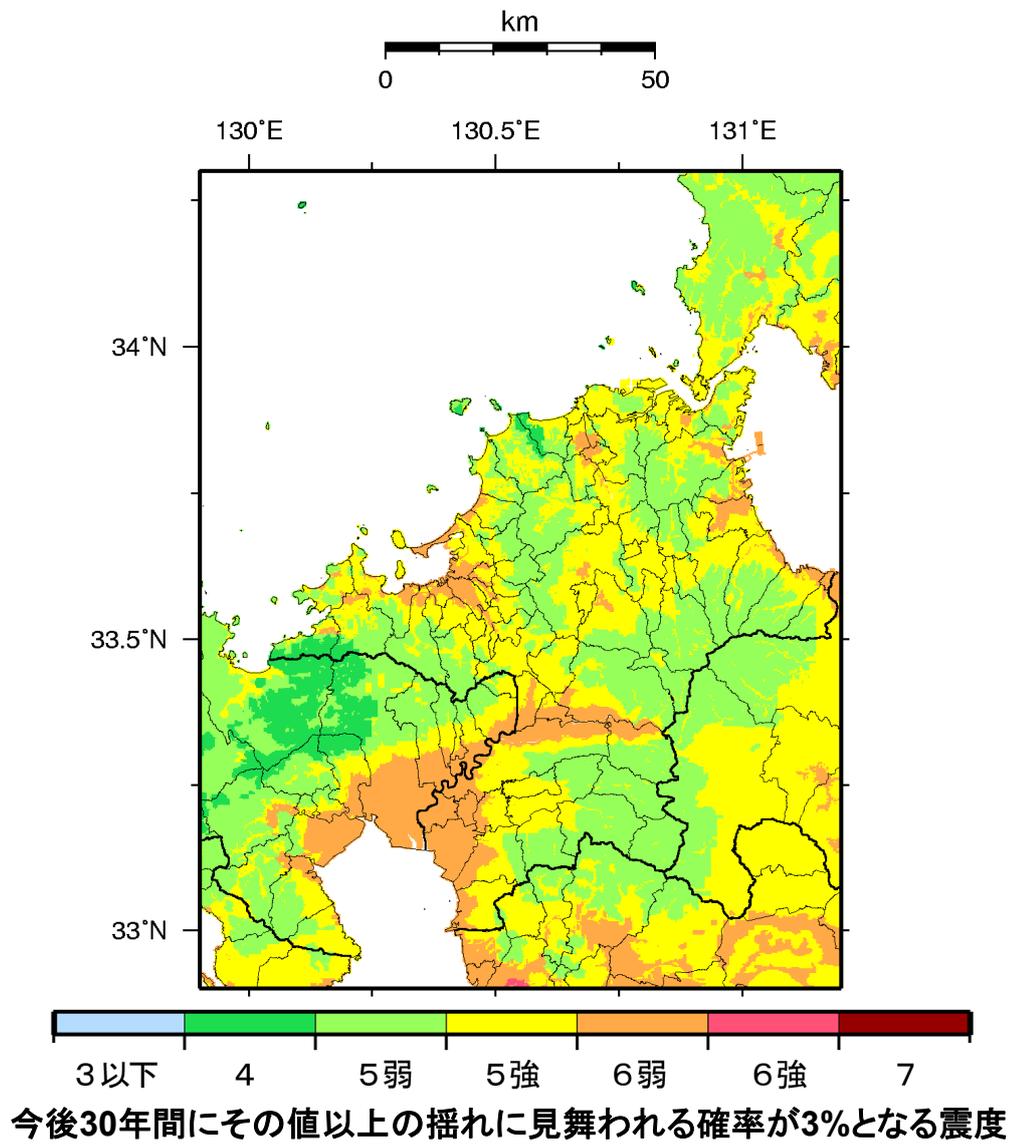
沿岸の平野部（福岡平野、直方平野、豊前行橋平野、筑紫平野など）や河川沿いの低地では、周囲の山地に比べると地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。

**福岡市役所：高い。**

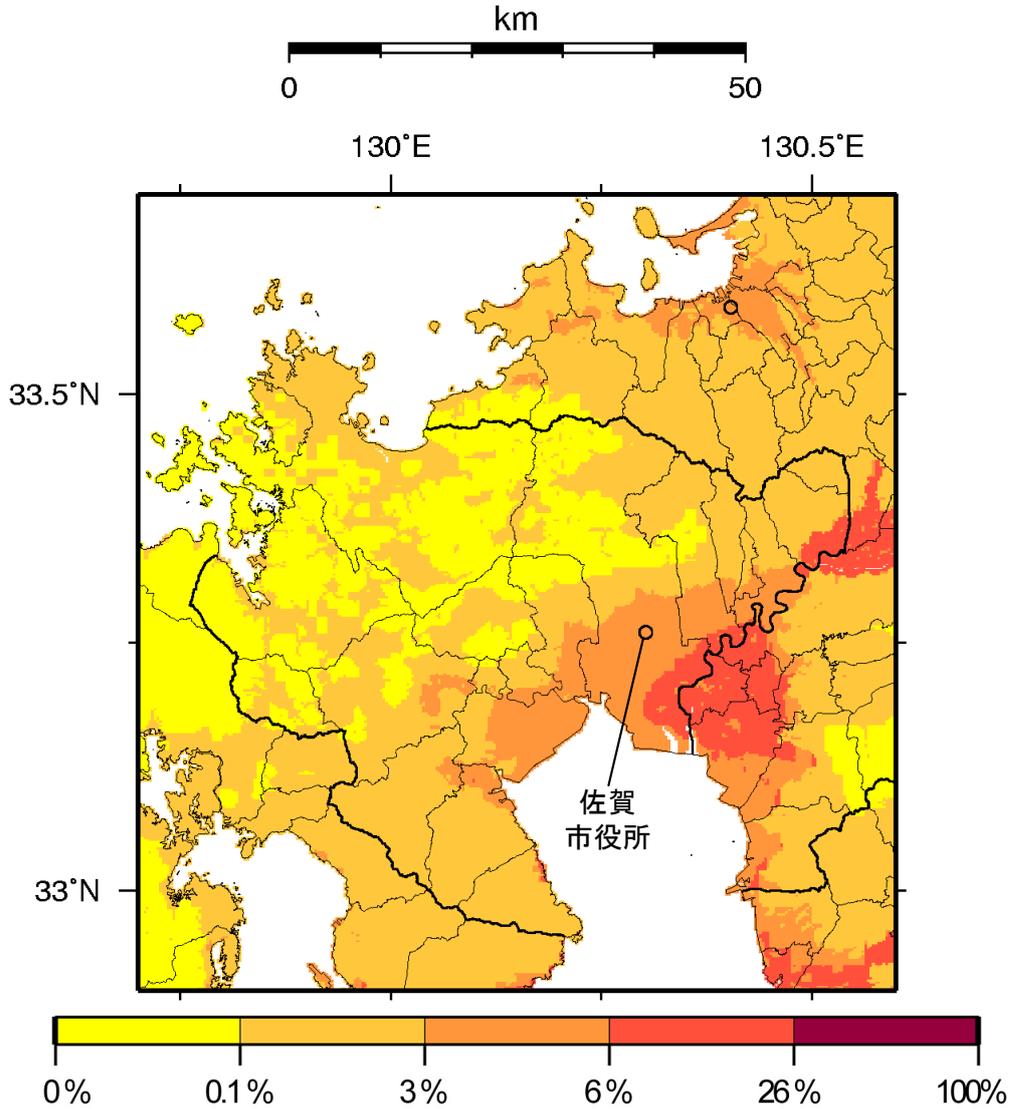
カテゴリーⅢの地震の影響度が最も高く支配的です。主に、発生確率の高い警固断層帯南東部の地震や、活断層が特定されていない場所で発生する地震によると考えられます。

カテゴリーⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震  
 カテゴリーⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震  
 カテゴリーⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震

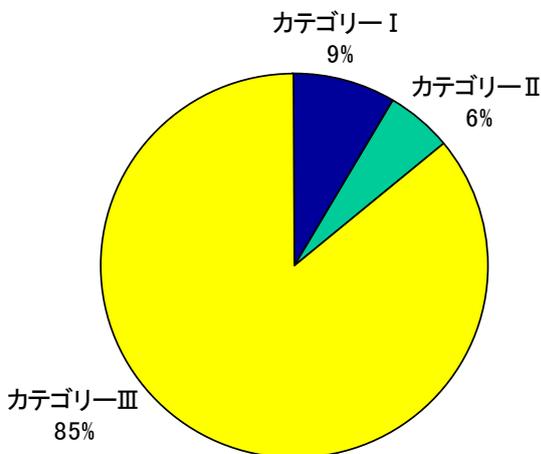
福岡市役所の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリー別の影響度



# 佐賀県



今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）



## 地図概況

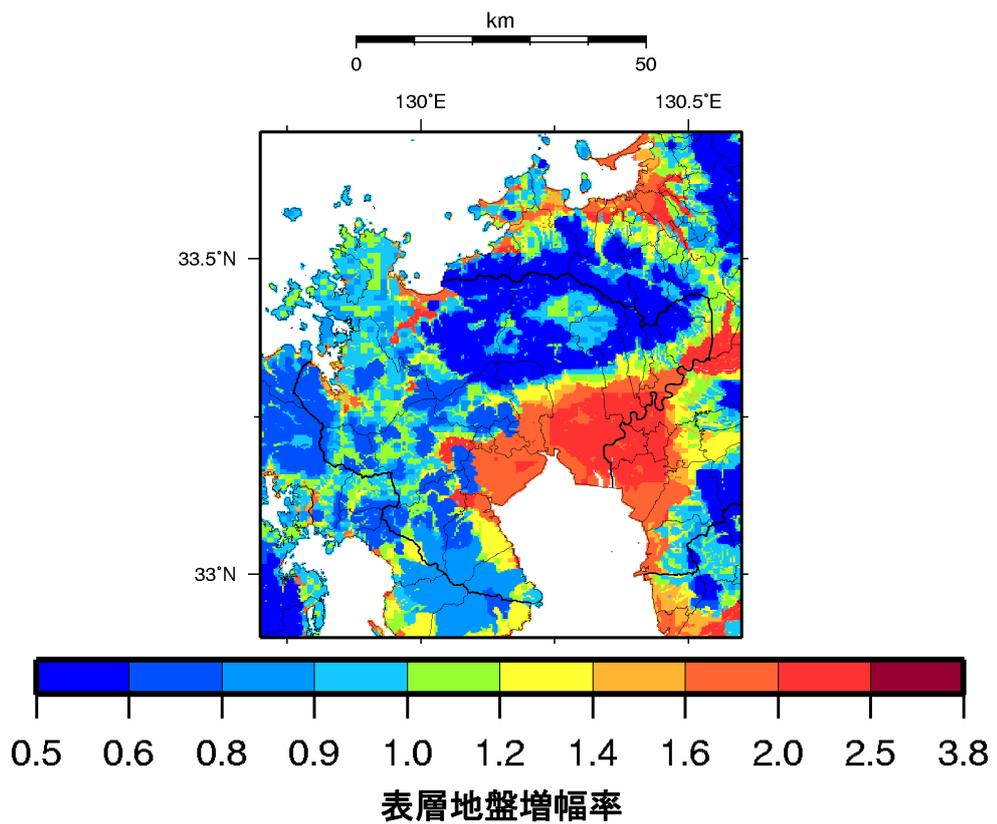
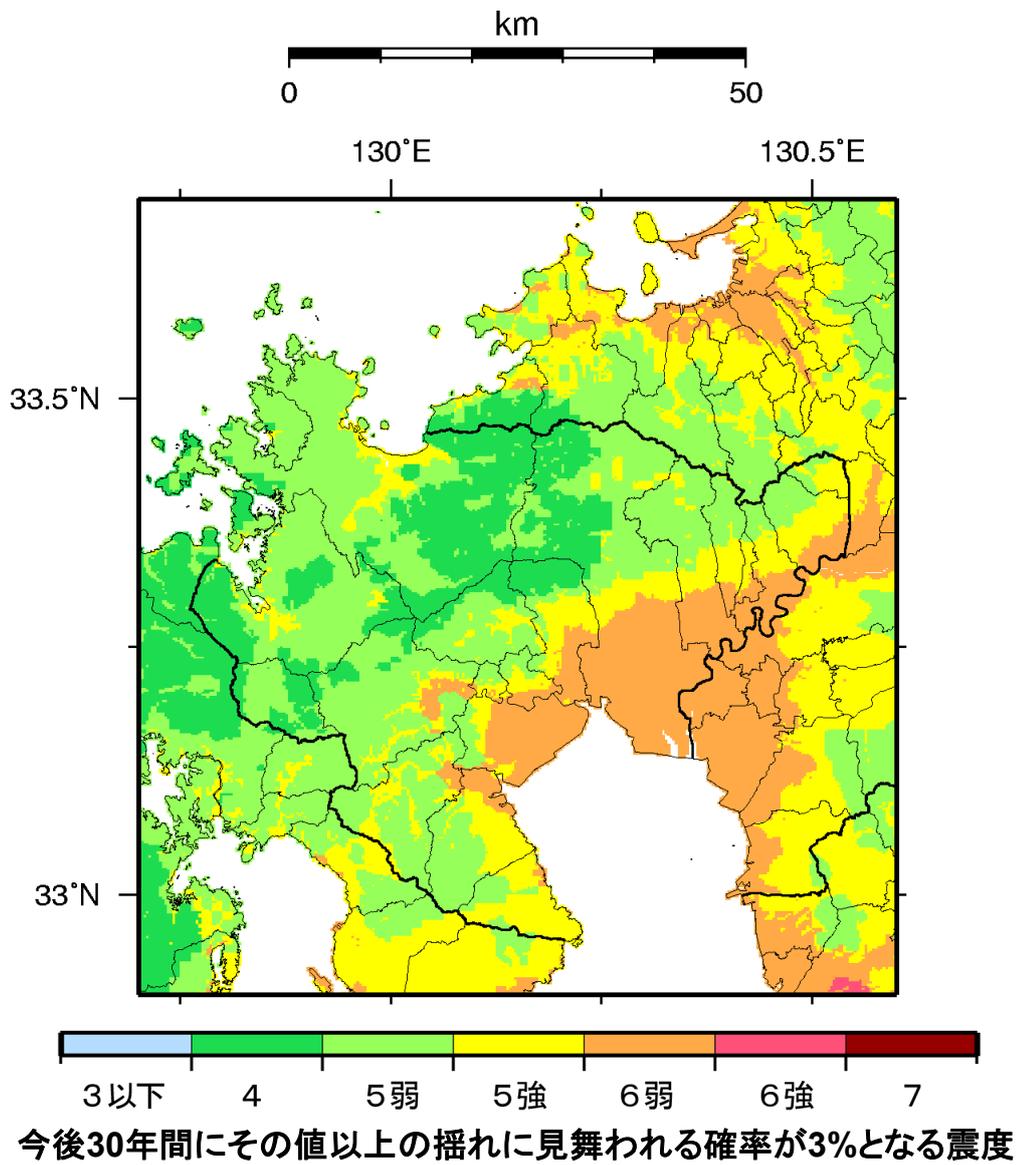
沿岸の平野部(筑紫平野など)や河川沿いの低地では、周囲の山地に比べると地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。

**佐賀市役所：高い。**

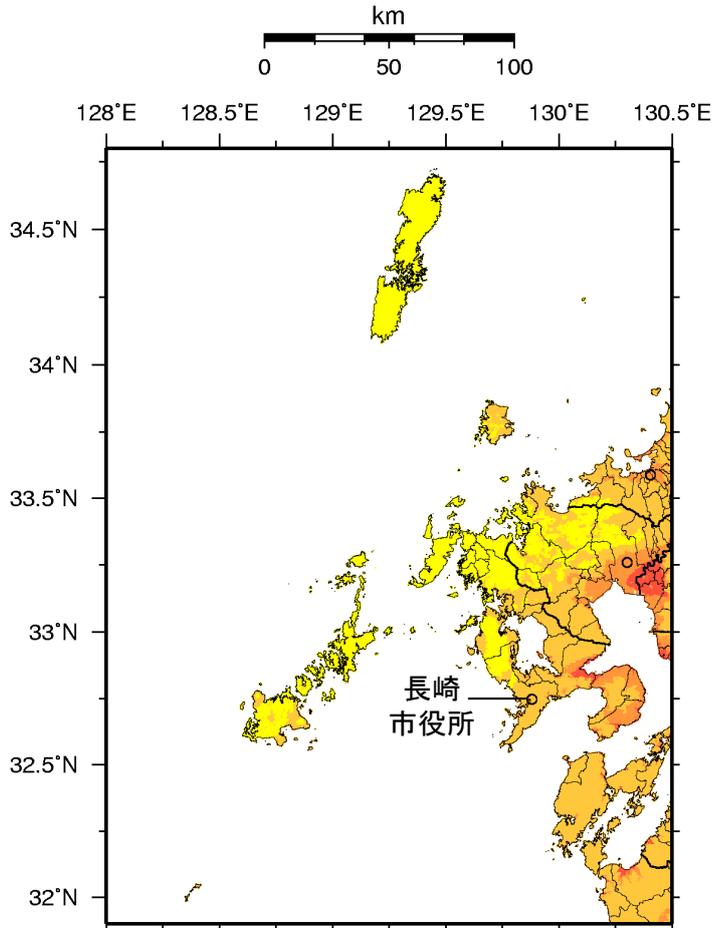
カテゴリーⅢの地震の影響度が最も高くなっています。主に、活断層が特定されていない場所で発生する地震によるものと考えられますが、主要活断層帯の地震(警固断層帯南東部の地震など)の影響も見られます。

カテゴリーⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震  
 カテゴリーⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震  
 カテゴリーⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震

佐賀市役所の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリー別の影響度



# 長崎県



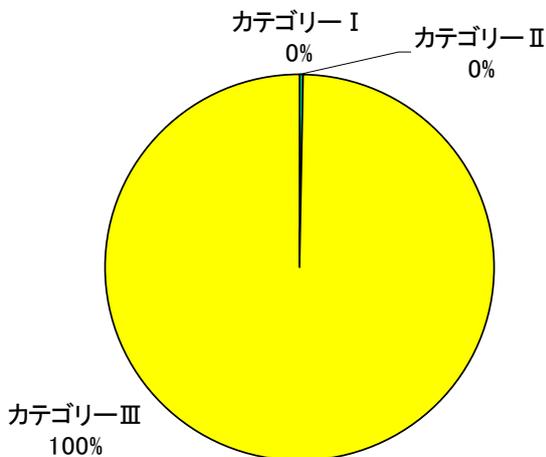
今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）

## 地図概況

半島や島嶼などの沿岸の平野部や河川沿いでは、周囲の山地に比べると地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。

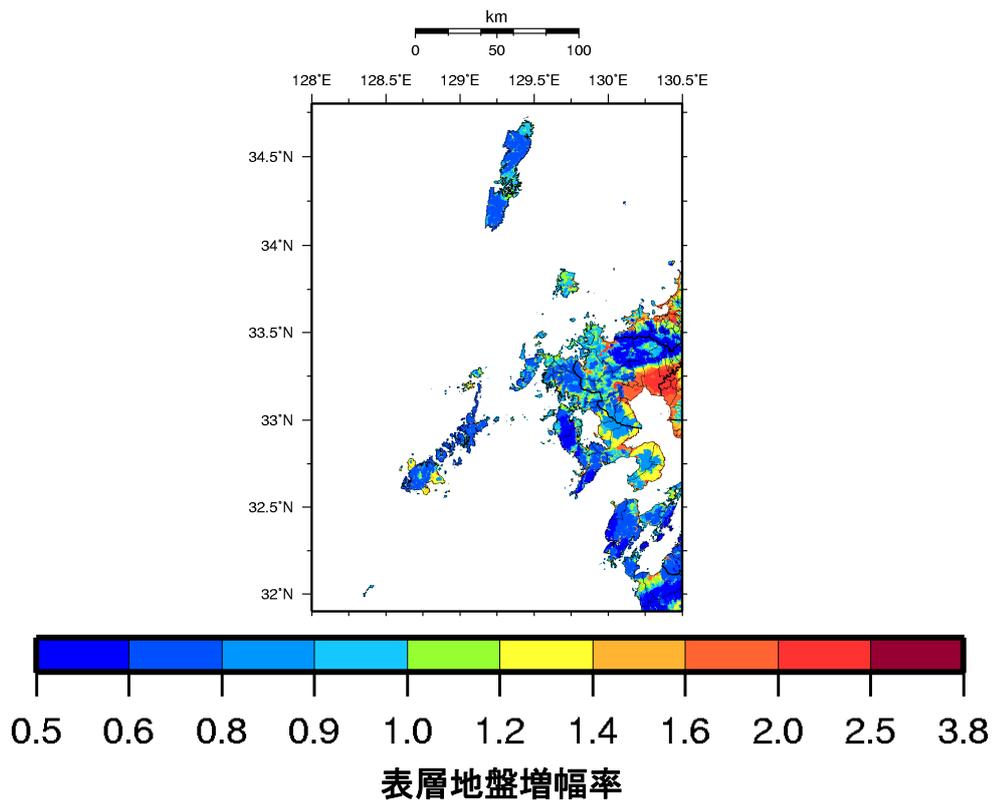
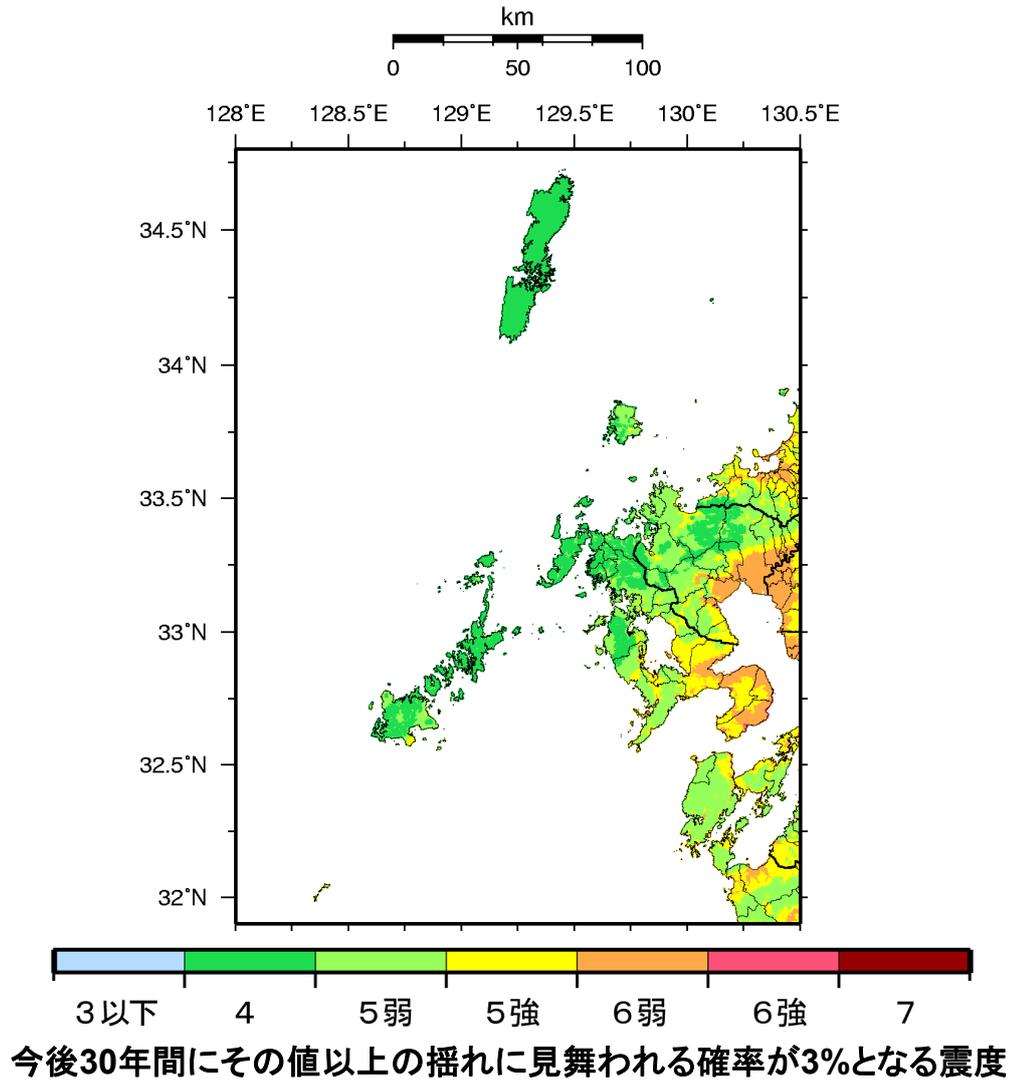
**長崎市役所：やや高い。**

カテゴリーⅢの地震の影響度が最も高く支配的です。活断層が特定されていない場所で発生する地震や、主要活断層帯の地震(主に雲仙断層群の地震)によるものと考えられます。

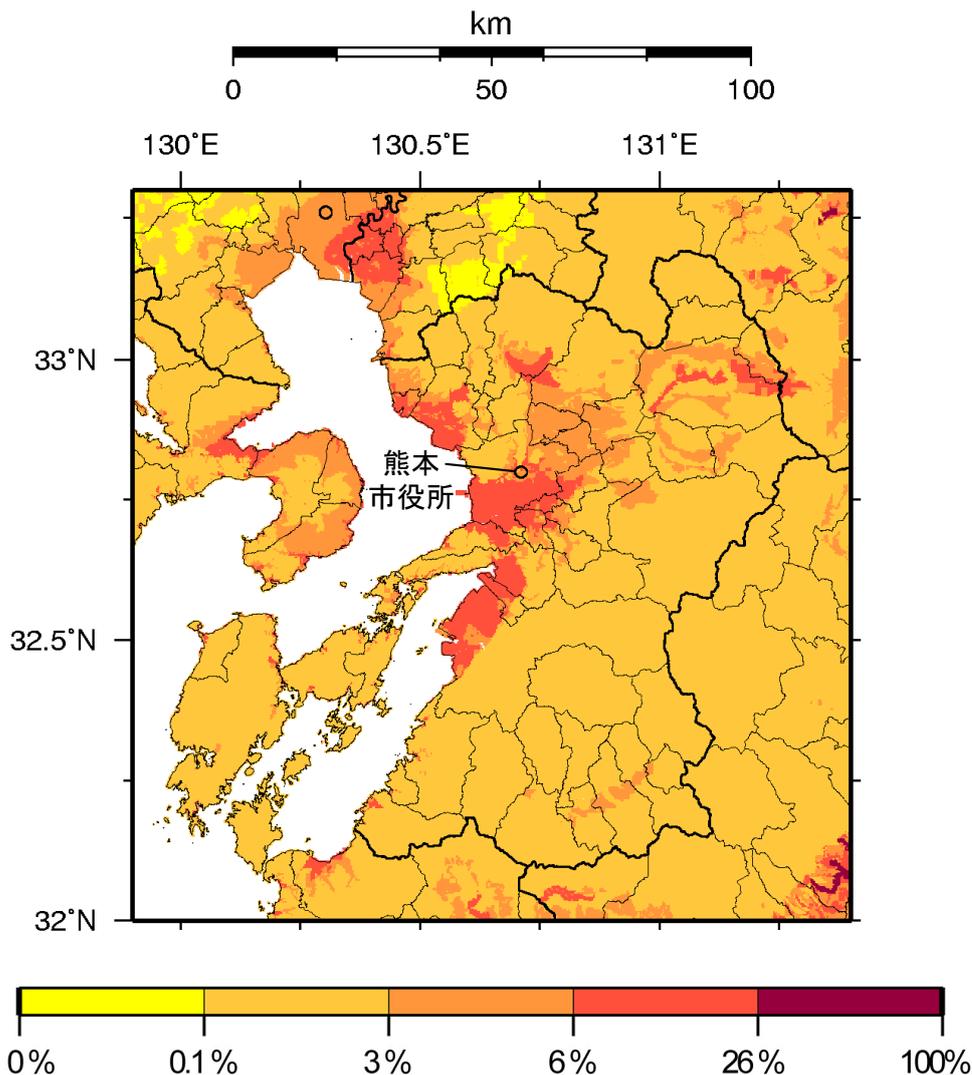


カテゴリーⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震  
 カテゴリーⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震  
 カテゴリーⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震

長崎市役所の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリー別の影響度



# 熊本県



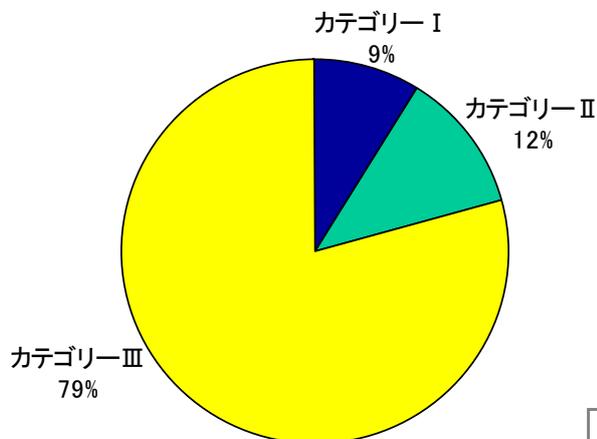
## 今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）

### 地図概況

沿岸の平野部（熊本平野、八代平野、菊池平野など）や盆地（人吉盆地）、河川沿いでは、周囲の山地に比べると地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。

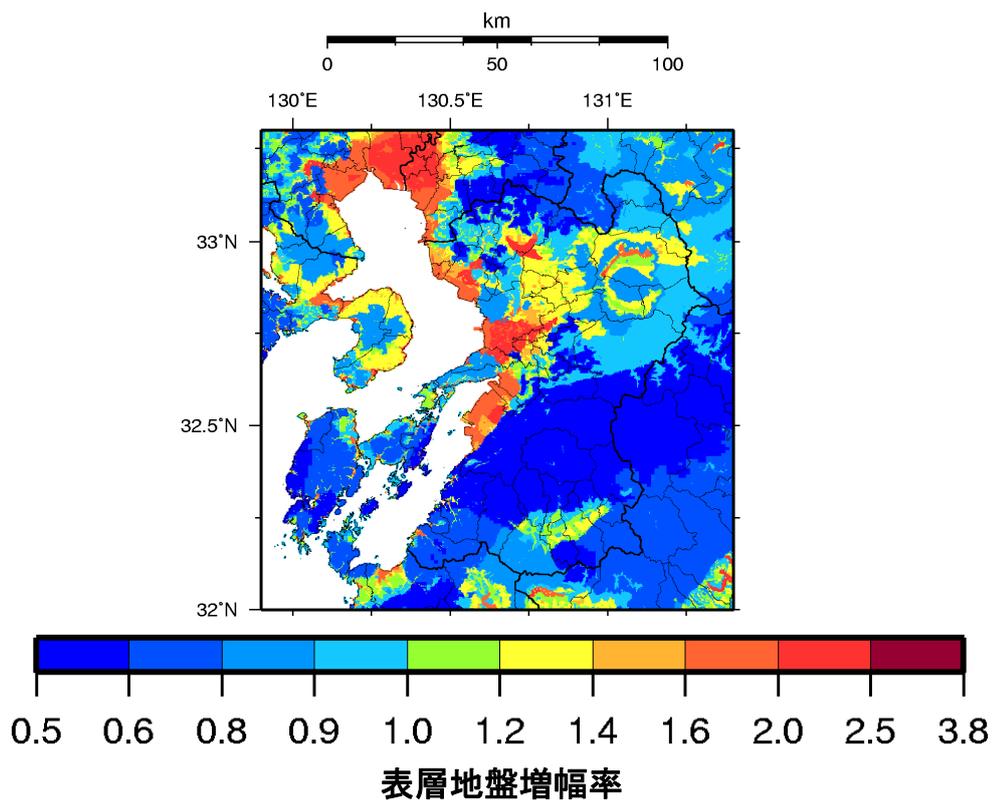
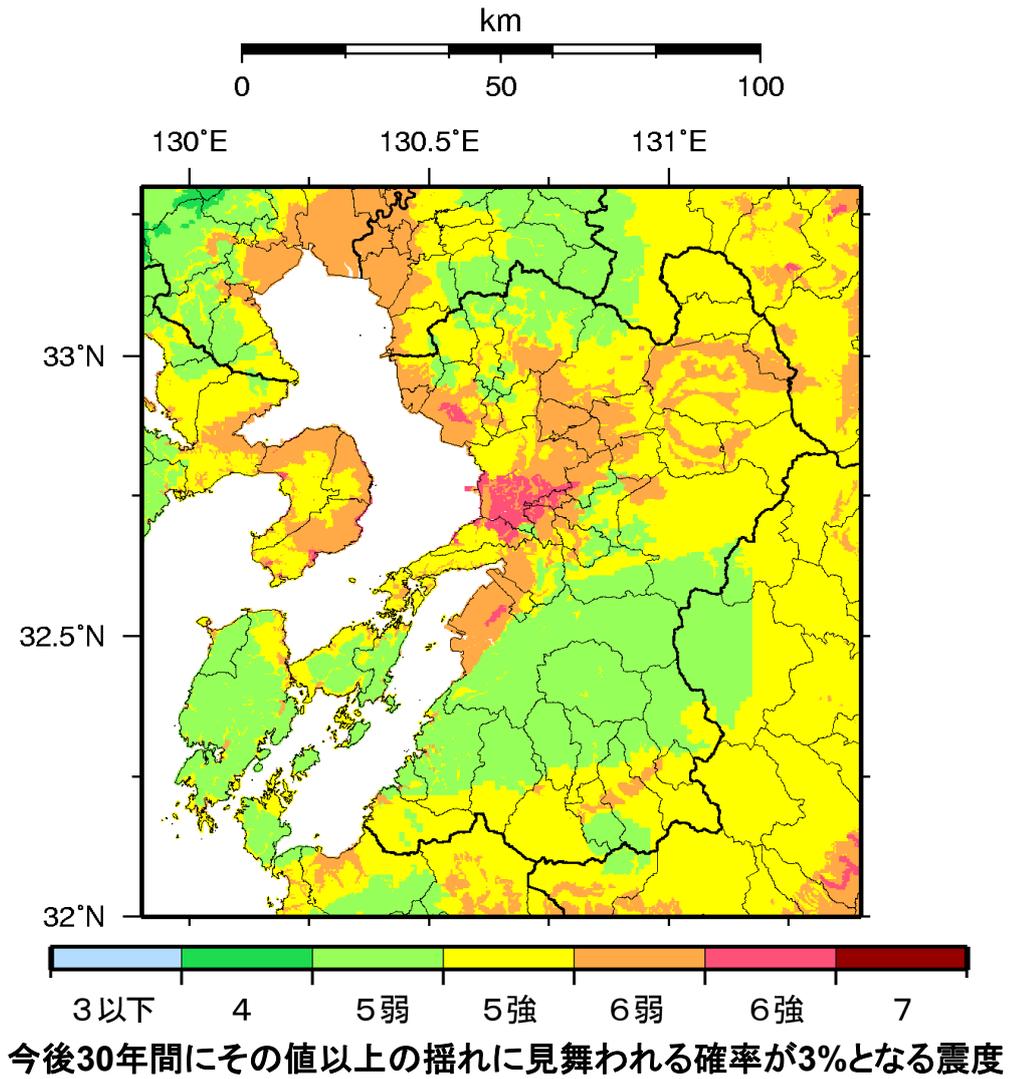
### 熊本市役所：高い。

活断層が特定されていない場所で発生する地震（カテゴリーⅢ）の影響度が最も高くなっていますが、主要活断層帯の地震（カテゴリーⅡ）の影響も見られます。これは近傍にある布田川・日奈久断層帯の地震によるものであると考えられます。また、沈み込むフィリピン海プレート内の震源を予め特定しにくい地震（カテゴリーⅠ）の影響も見られます。

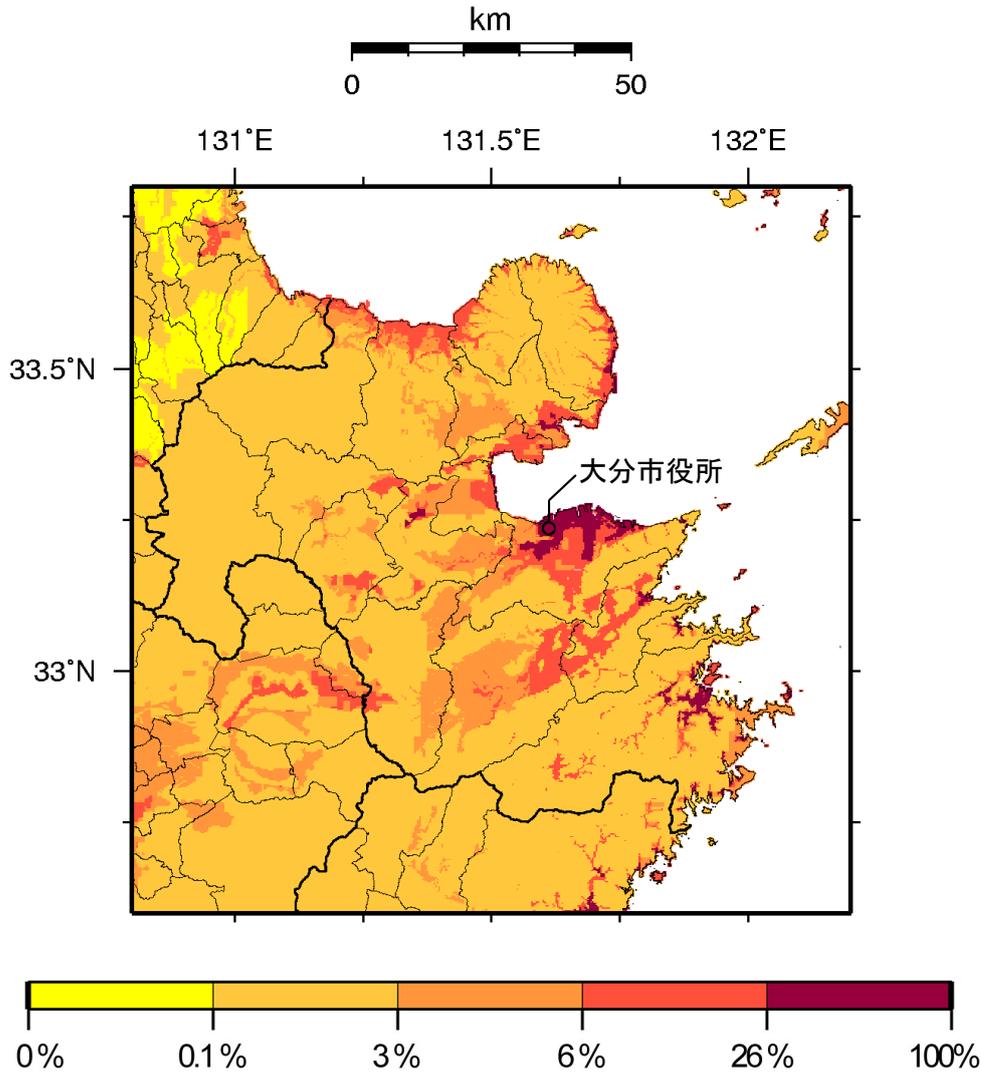


カテゴリーⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震  
 カテゴリーⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震  
 カテゴリーⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震

## 熊本市役所の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリー別の影響度



# 大分県



今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）

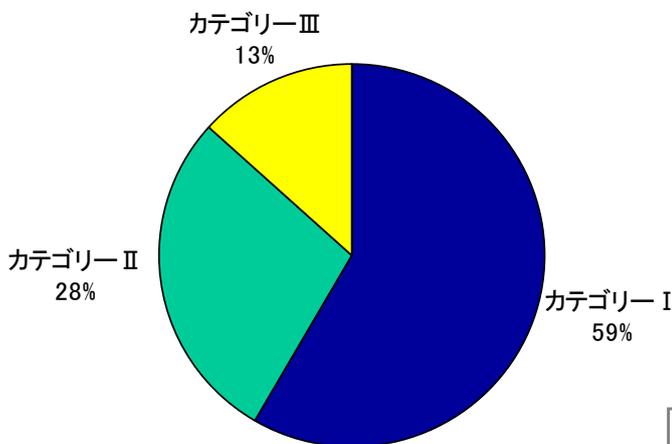
## 地図概況

沿岸の平野部（大分平野、中津平野など）や山間の河川沿いなどでは、周囲の山地に比べると地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。

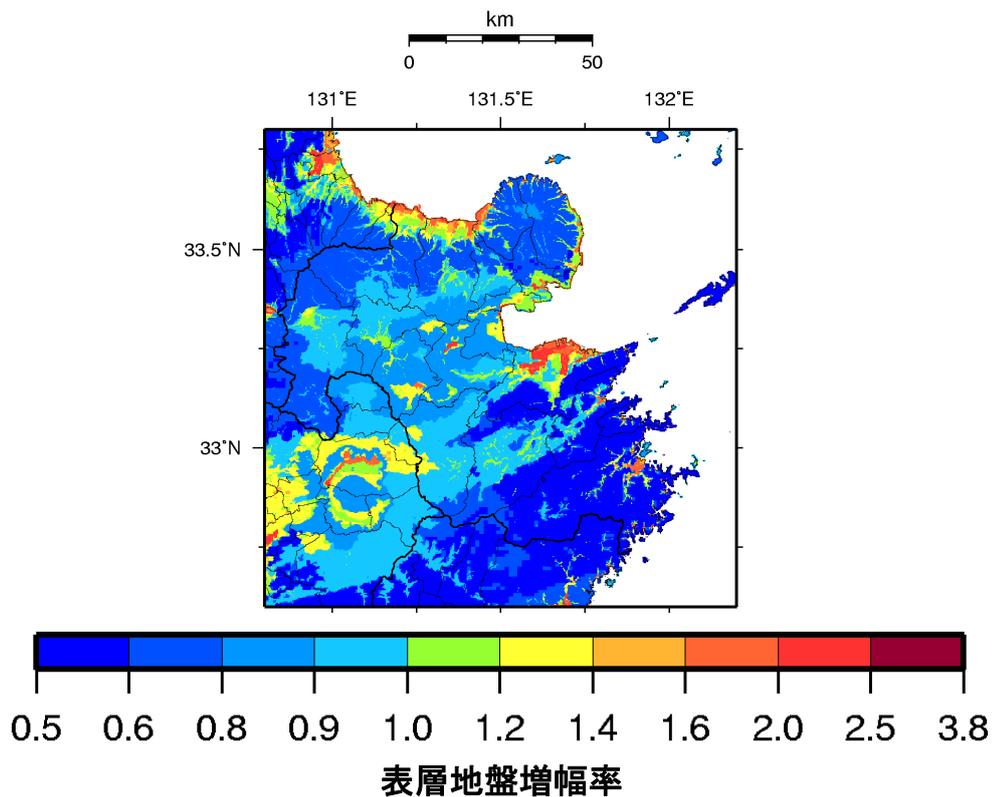
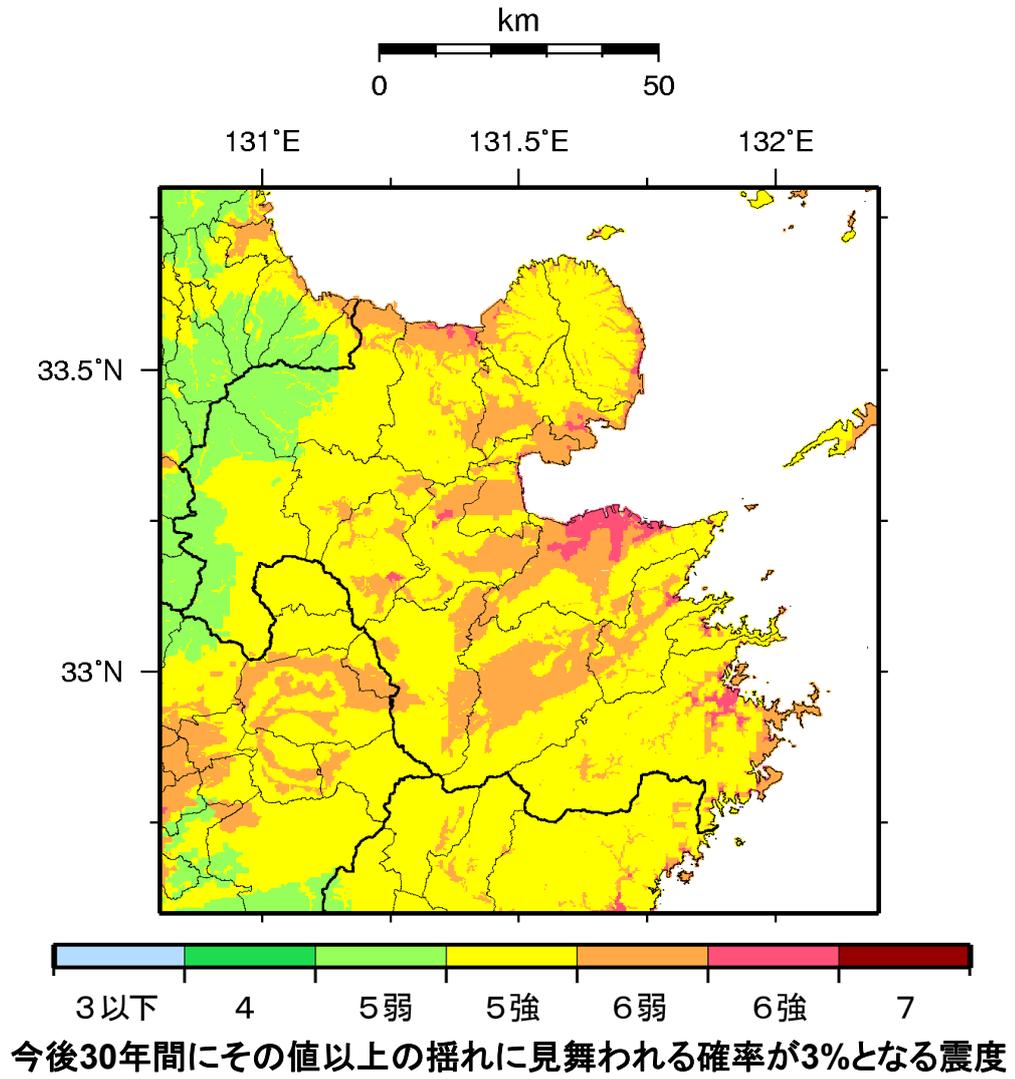
**大分市役所：高い。**

最も影響度が高いのは南海トラフの地震（カテゴリーⅠ）です。安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震や、沈み込むフィリピン海プレート内の震源を予め特定しにくい地震（ともにカテゴリーⅡ）の影響も見られます。また、活断層が特定されていない場所で発生する地震や、別府～万年山断層帯の地震（ともにカテゴリーⅢ）の影響も見られます。

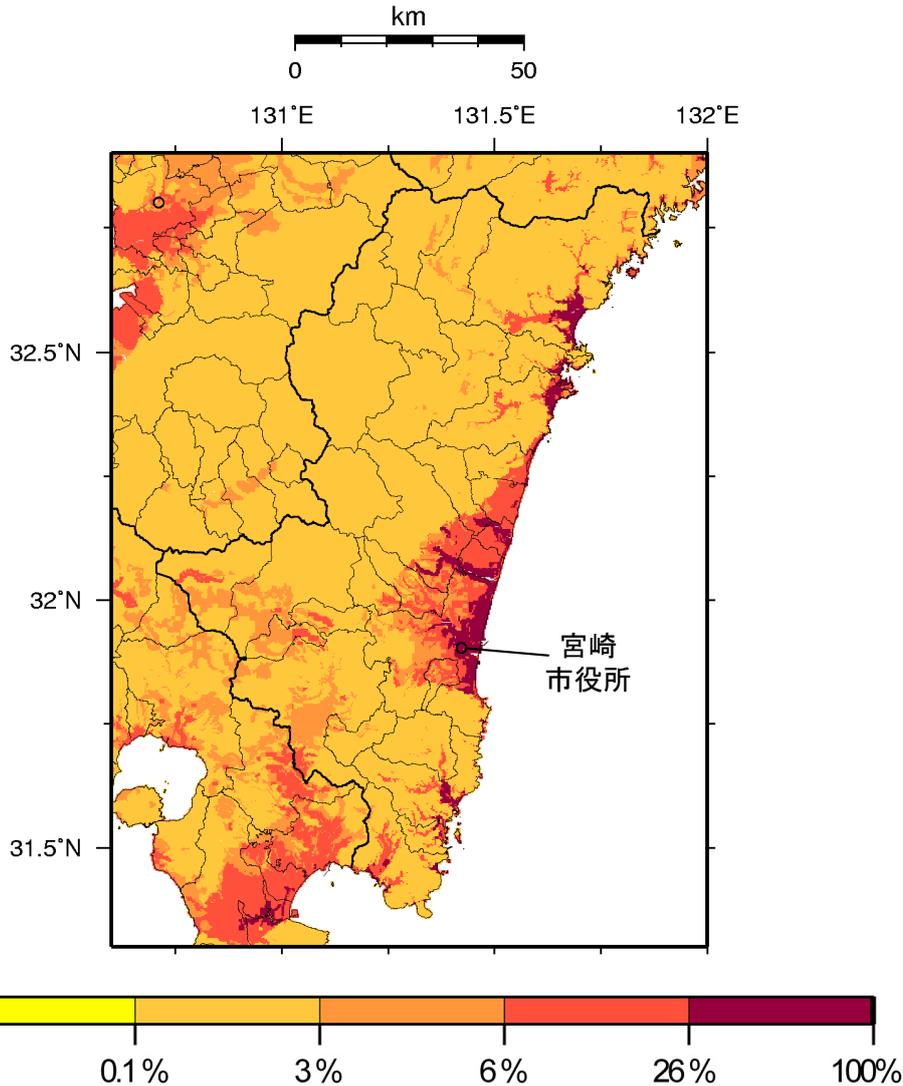
カテゴリーⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震  
 カテゴリーⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震  
 カテゴリーⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震



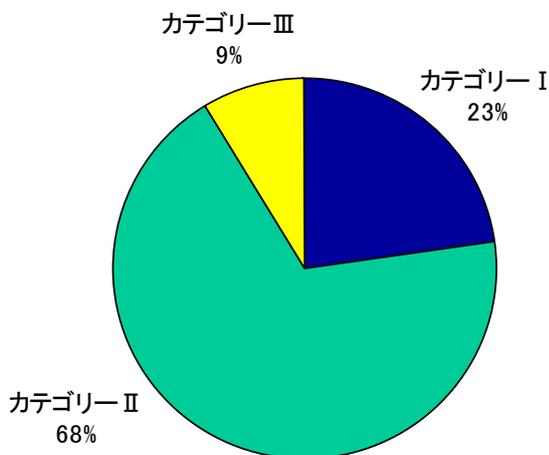
大分市役所の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する地震カテゴリー別の影響度



# 宮崎県



今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）



## 地図概況

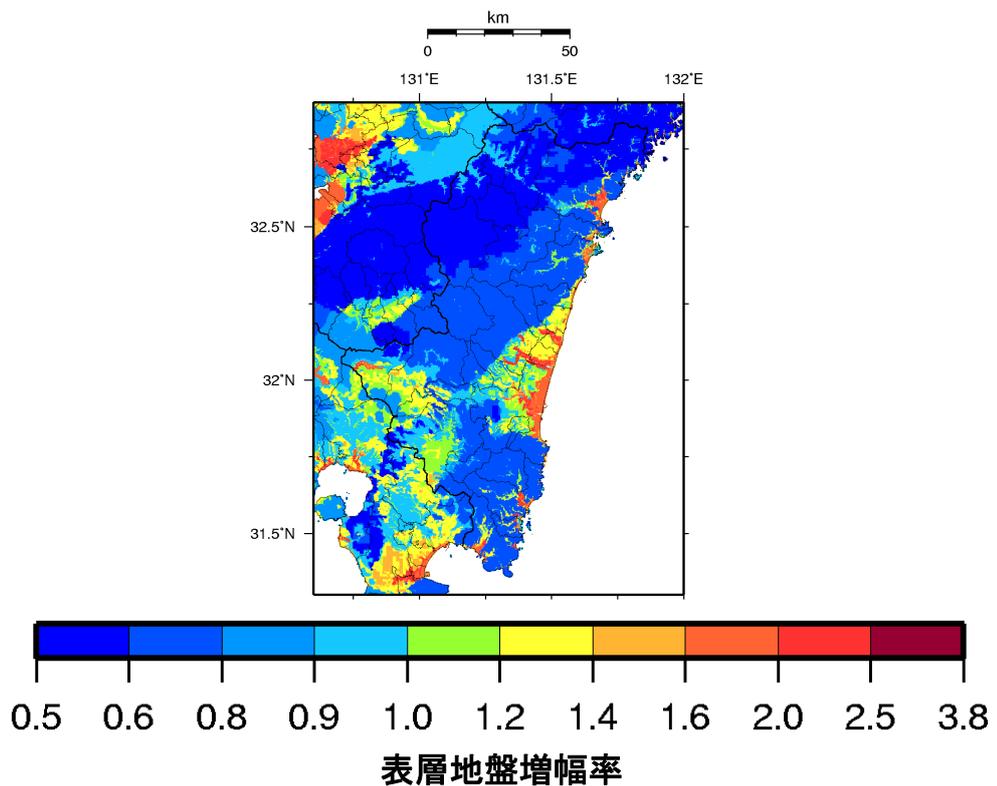
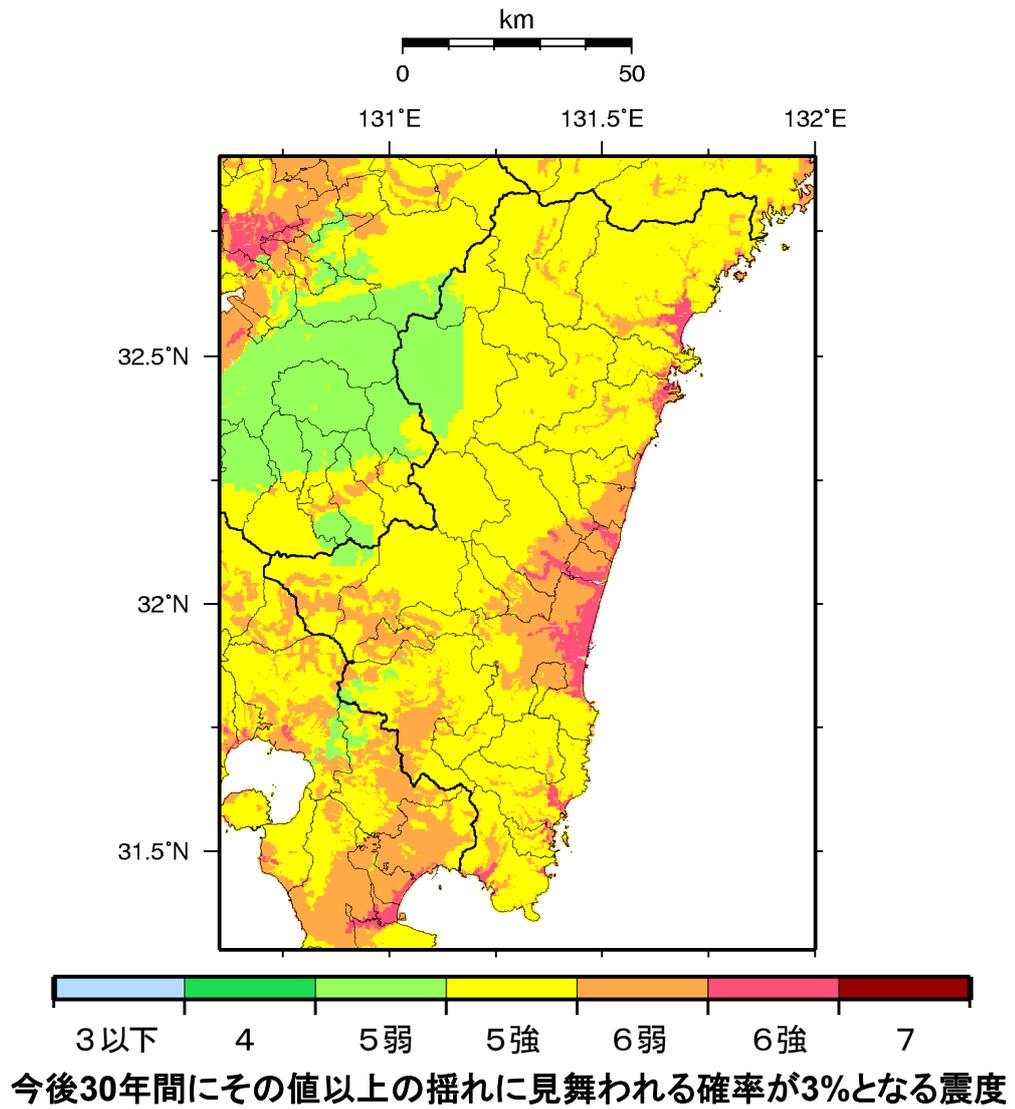
沿岸の平野部（宮崎平野、延岡平野など）や盆地（小林盆地、都城盆地）、河川沿いでは、周囲の山地に比べると地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。

**宮崎市役所：高い。**

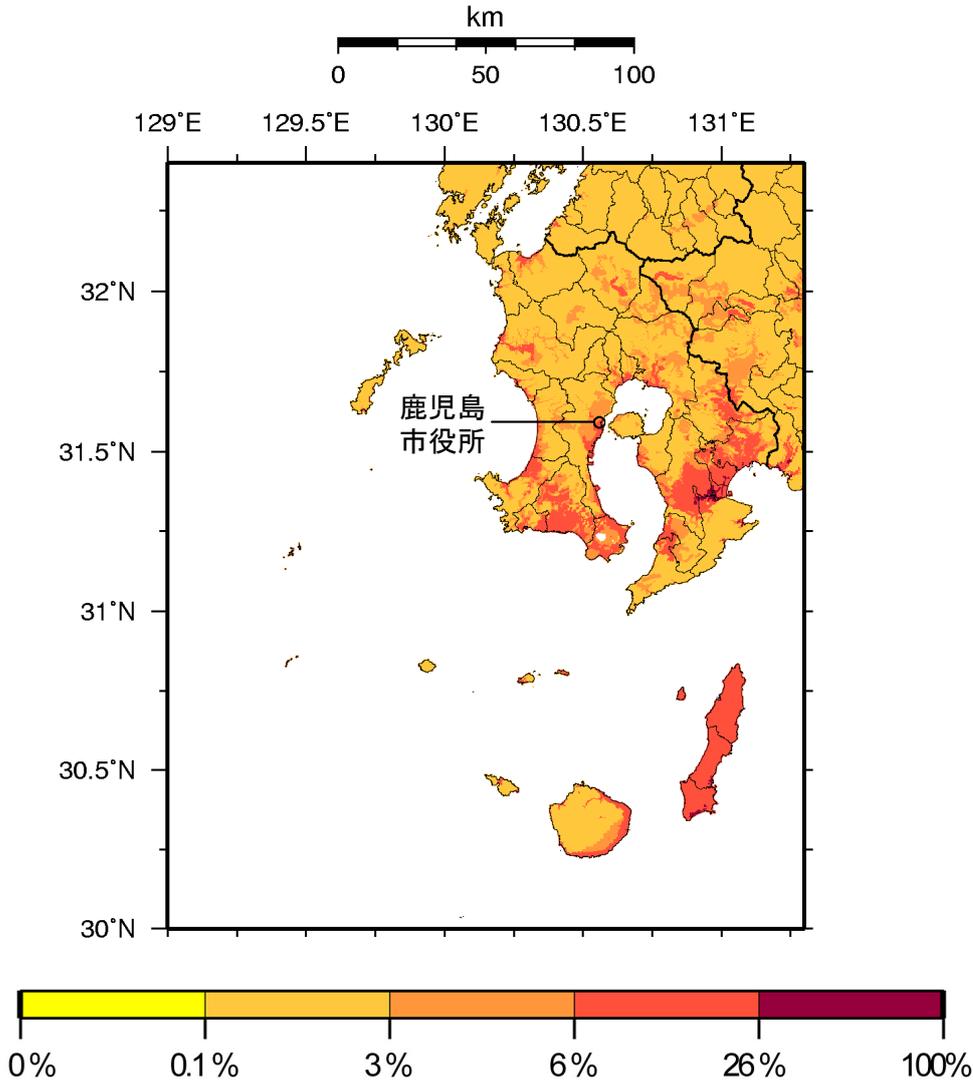
カテゴリーⅡの地震の影響度が最も高くなっています。主に、日向灘のひとまわり小さいプレート間地震や、沈み込むフィリピン海プレート内の震源を予め特定しにくい地震によるものと考えられます。南海トラフの地震（カテゴリーⅠ）の影響度も相対的に高くなっています。

カテゴリーⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震  
 カテゴリーⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震  
 カテゴリーⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震

宮崎市役所の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する地震カテゴリー別の影響度



# 鹿児島県(奄美地方を除く)



今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）

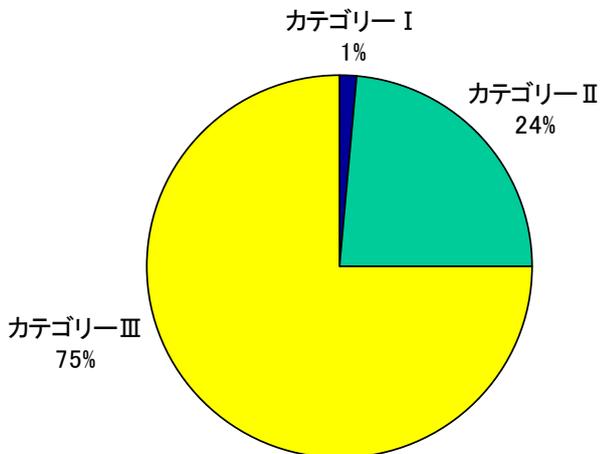
## 地図概況

島嶼も含めた沿岸の平野部（肝属平野、川内平野など）や盆地（大口盆地など）、河川沿いでは、周囲の山地に比べると地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。

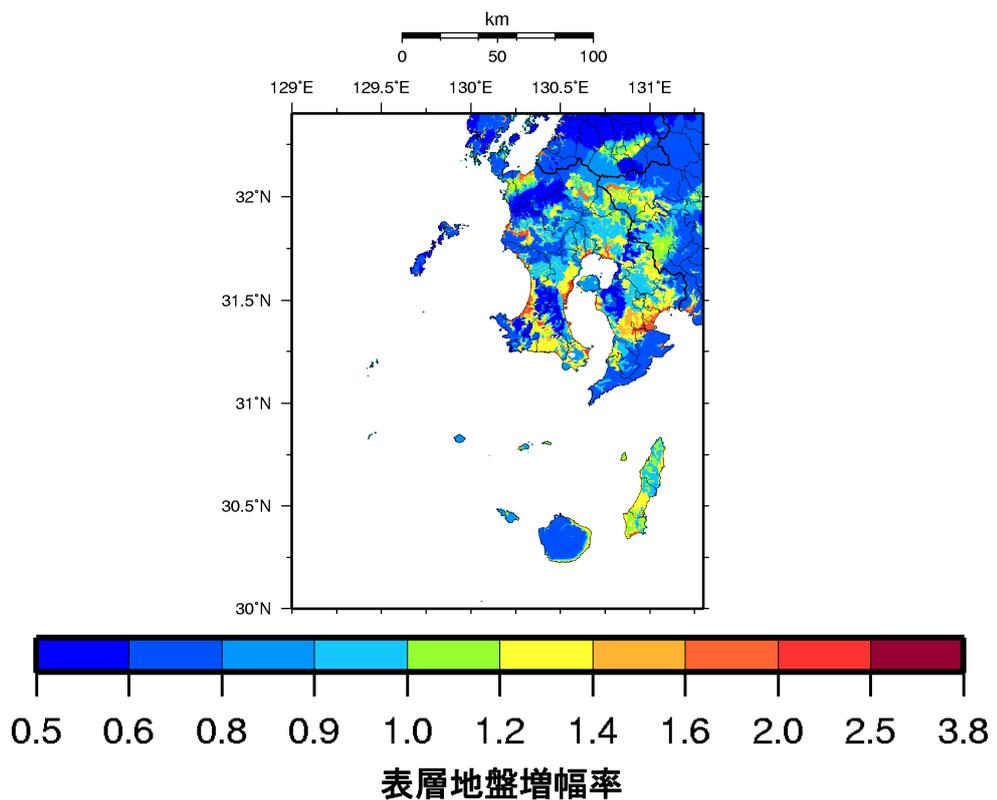
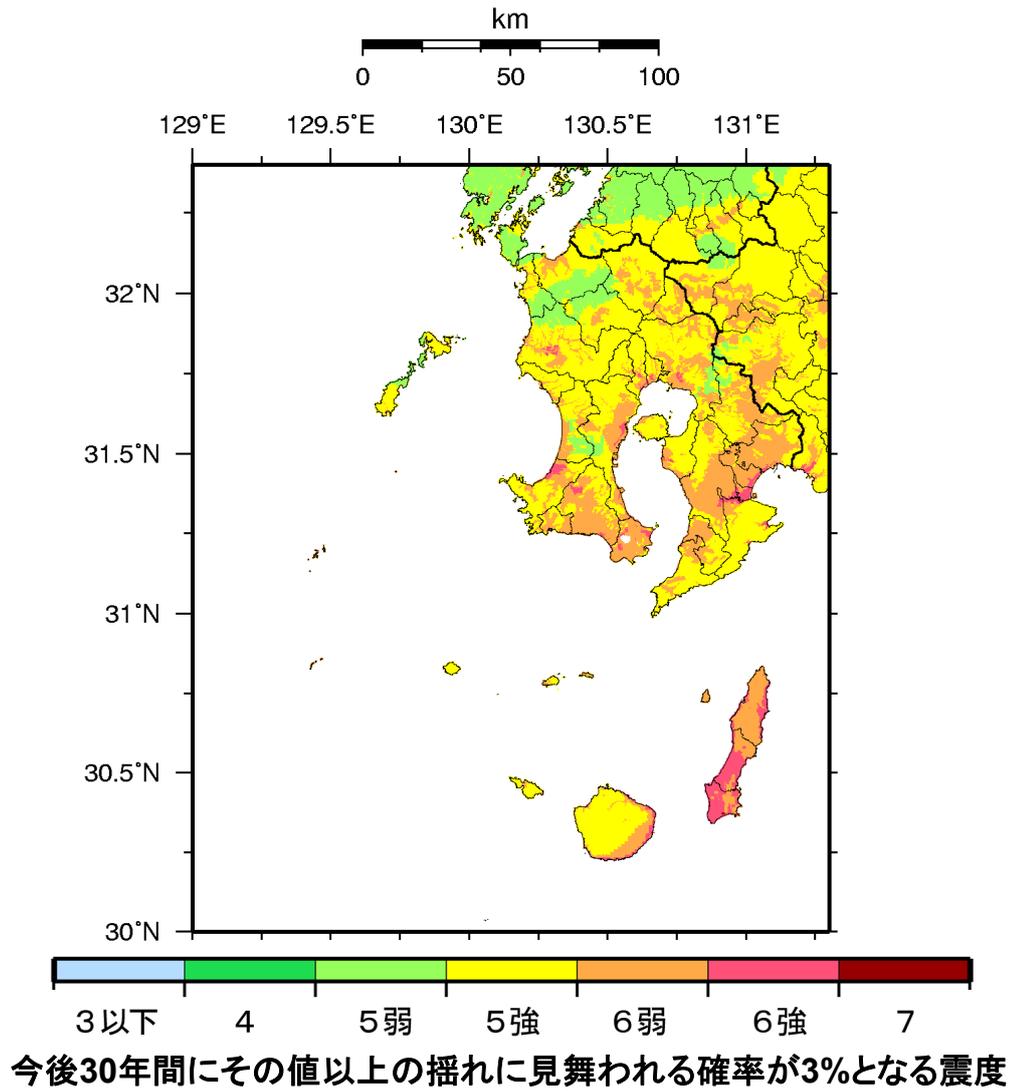
鹿児島市役所：高い。

南西諸島付近の震源断層を予め特定しにくい地震（カテゴリーⅢ）の影響度が最も高くなっています。次いで、沈み込むフィリピン海プレート内の震源を予め特定しにくい地震（カテゴリーⅡ）や、活断層が特定されていない場所で発生する地震（カテゴリーⅢ）の影響が見られます。

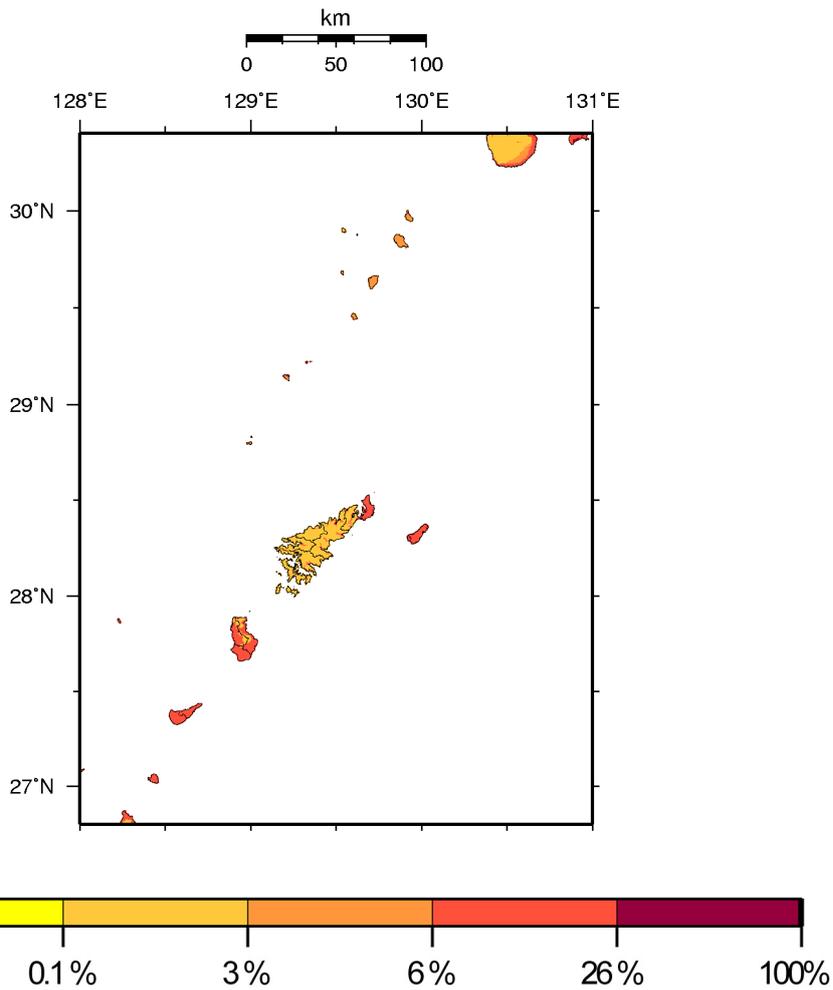
カテゴリーⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震  
カテゴリーⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震  
カテゴリーⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震



鹿児島市役所の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリー別の影響度



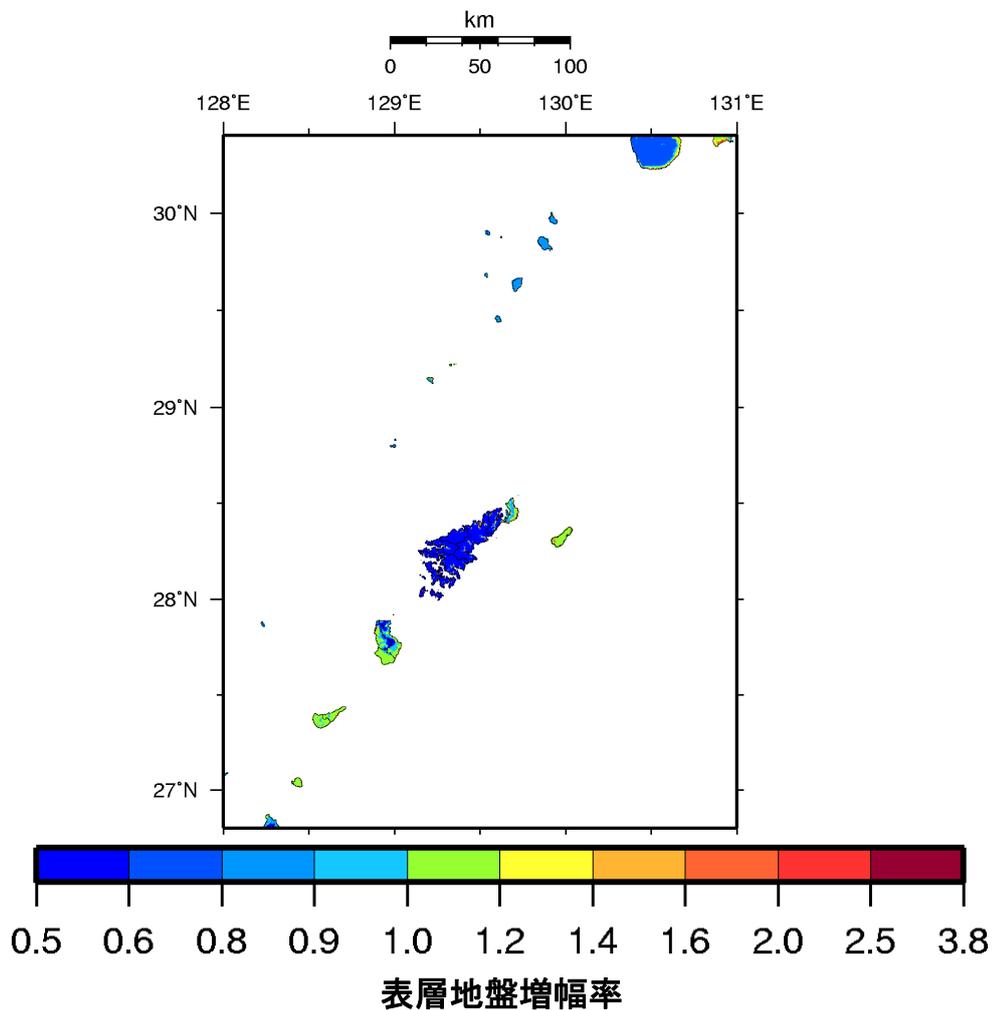
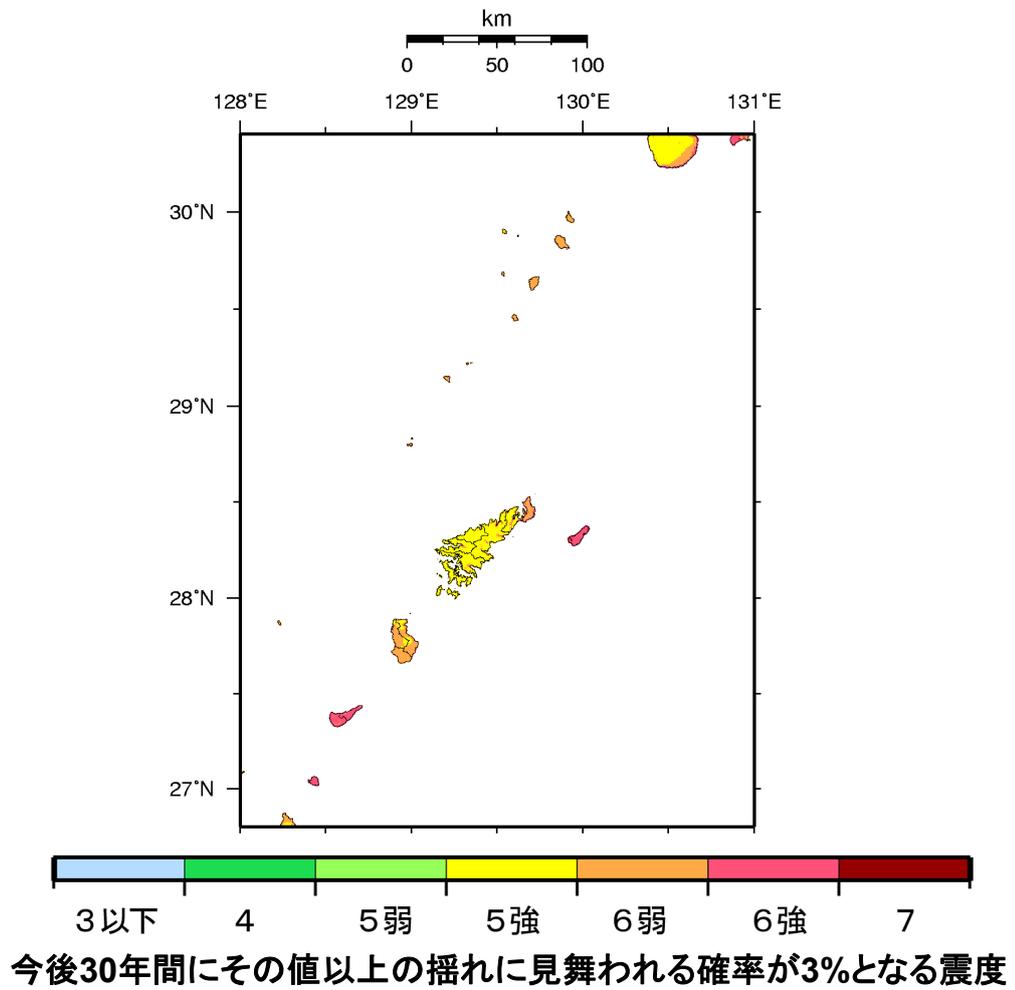
# 鹿児島県(奄美地方)



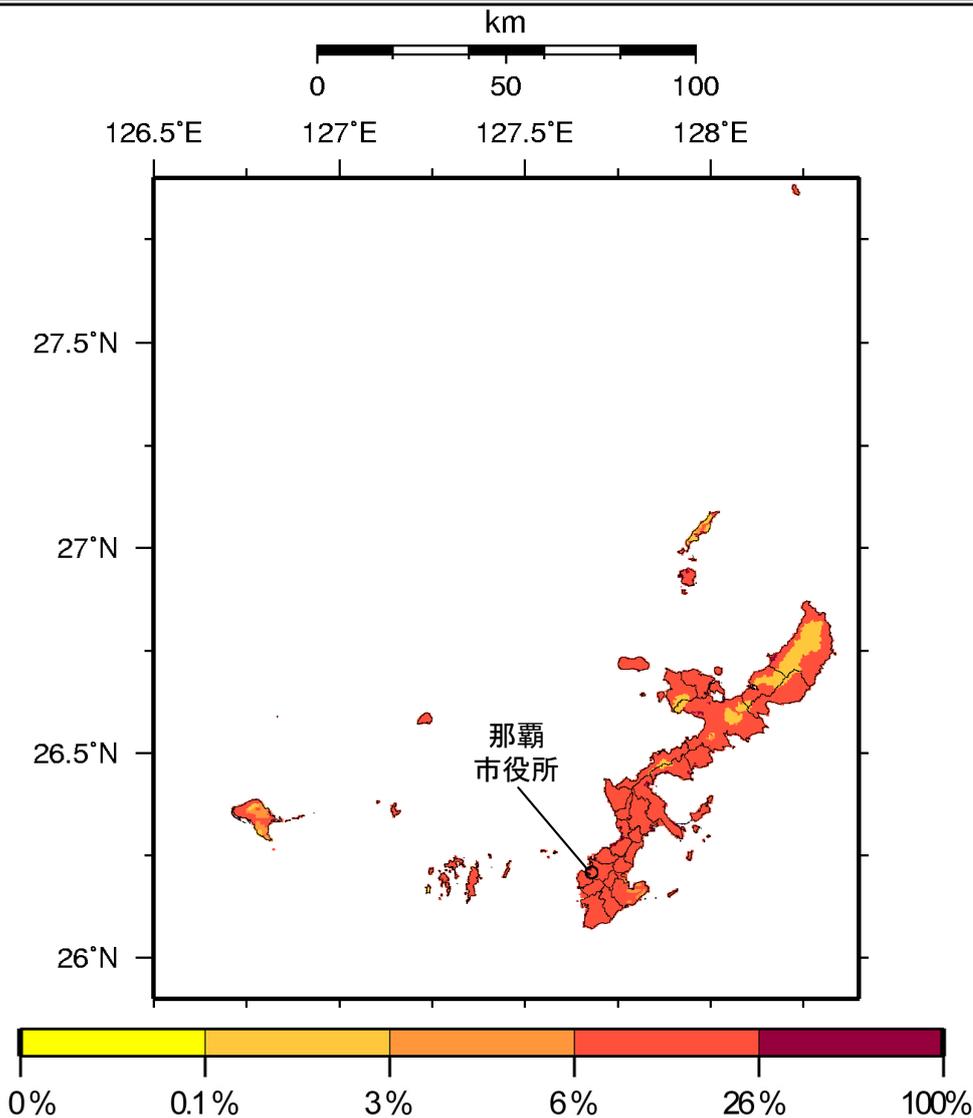
今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）

## 地図概況

沿岸の低地などでは、山地に比べると地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。



# 沖縄県(宮古島・八重山地方、大東島地方を除く)



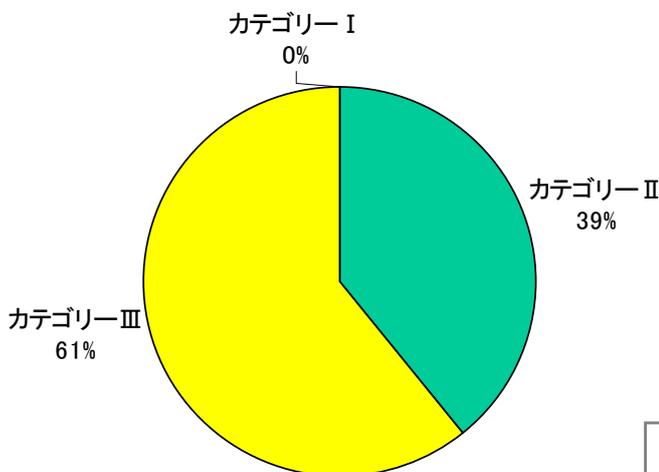
今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率 (30年超過確率)

## 地図概況

沿岸の低地の地盤増幅率は高く、確率・震度ともに大きくなります。山地がある島嶼では、山地の地盤増幅率は低く、沿岸の低地に比べると確率や震度がやや小さくなっています。

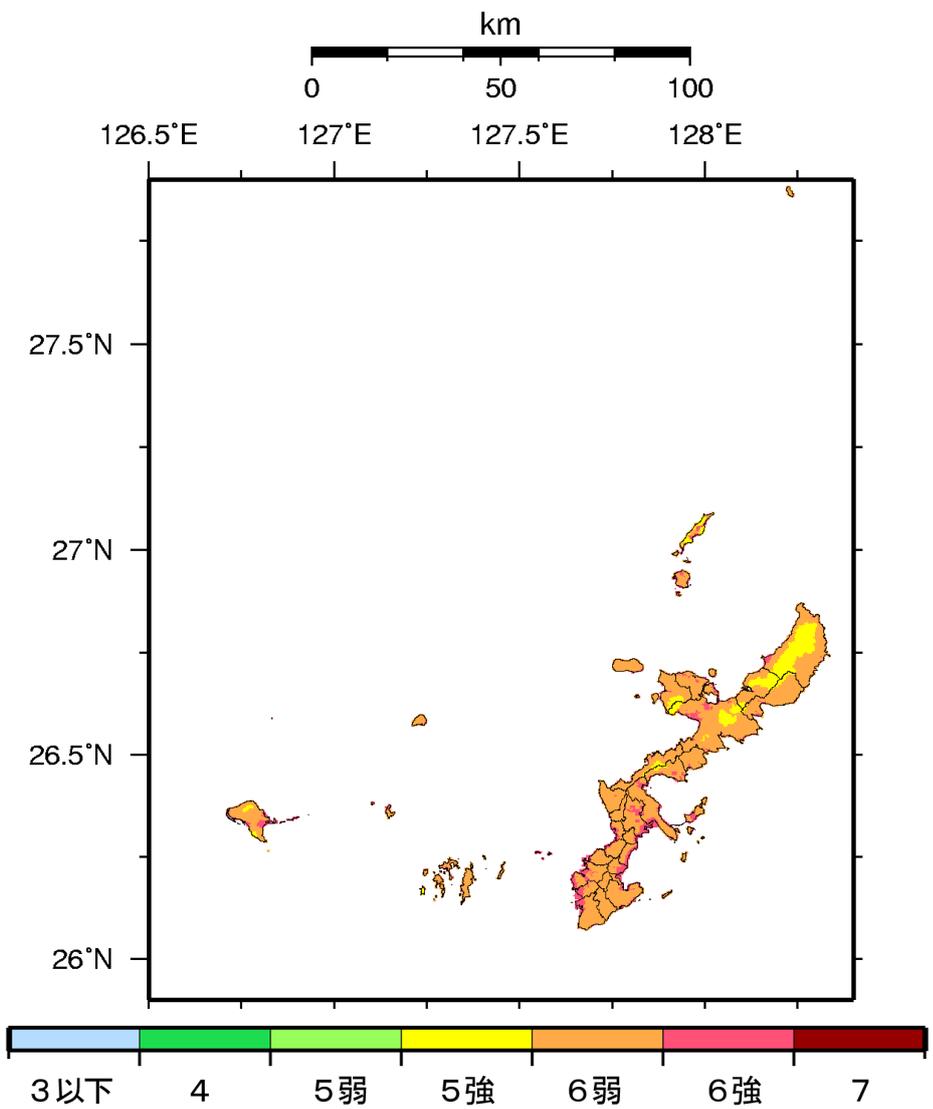
**那覇市役所：高い。**

南西諸島付近の震源断層を予め特定しにくい地震(カテゴリーⅢ)の影響度が最も高くなっています。次いで、沈み込むフィリピン海プレート内の震源を予め特定しにくい地震(カテゴリーⅡ)の影響度が高くなっています。

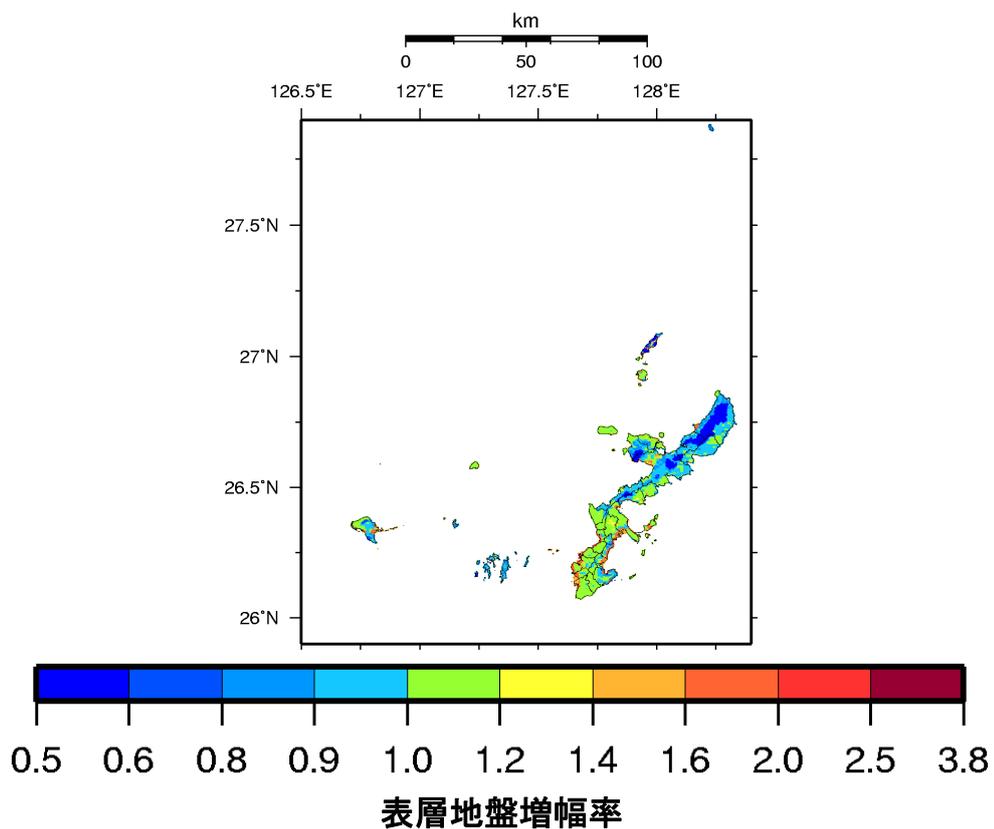


カテゴリーⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震  
 カテゴリーⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震  
 カテゴリーⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震

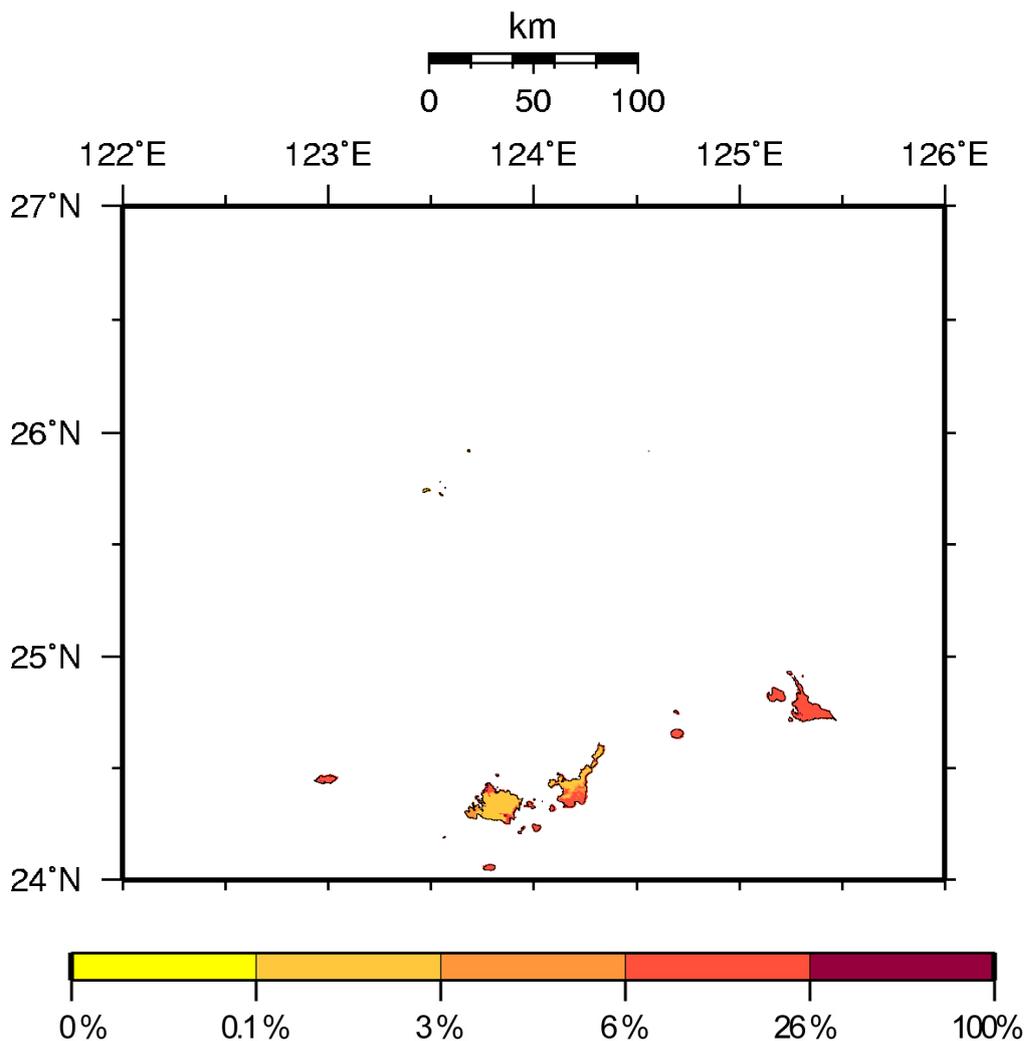
那覇市役所の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリー別の影響度



今後30年間にその値以上の揺れに見舞われる確率が3%となる震度



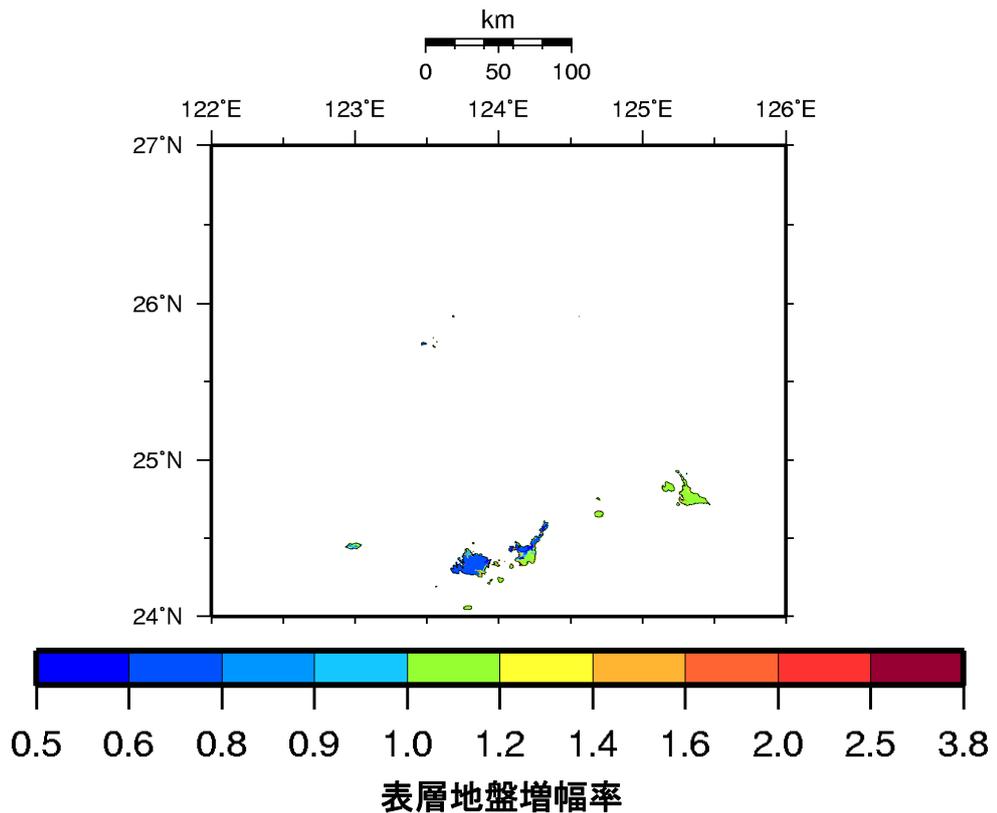
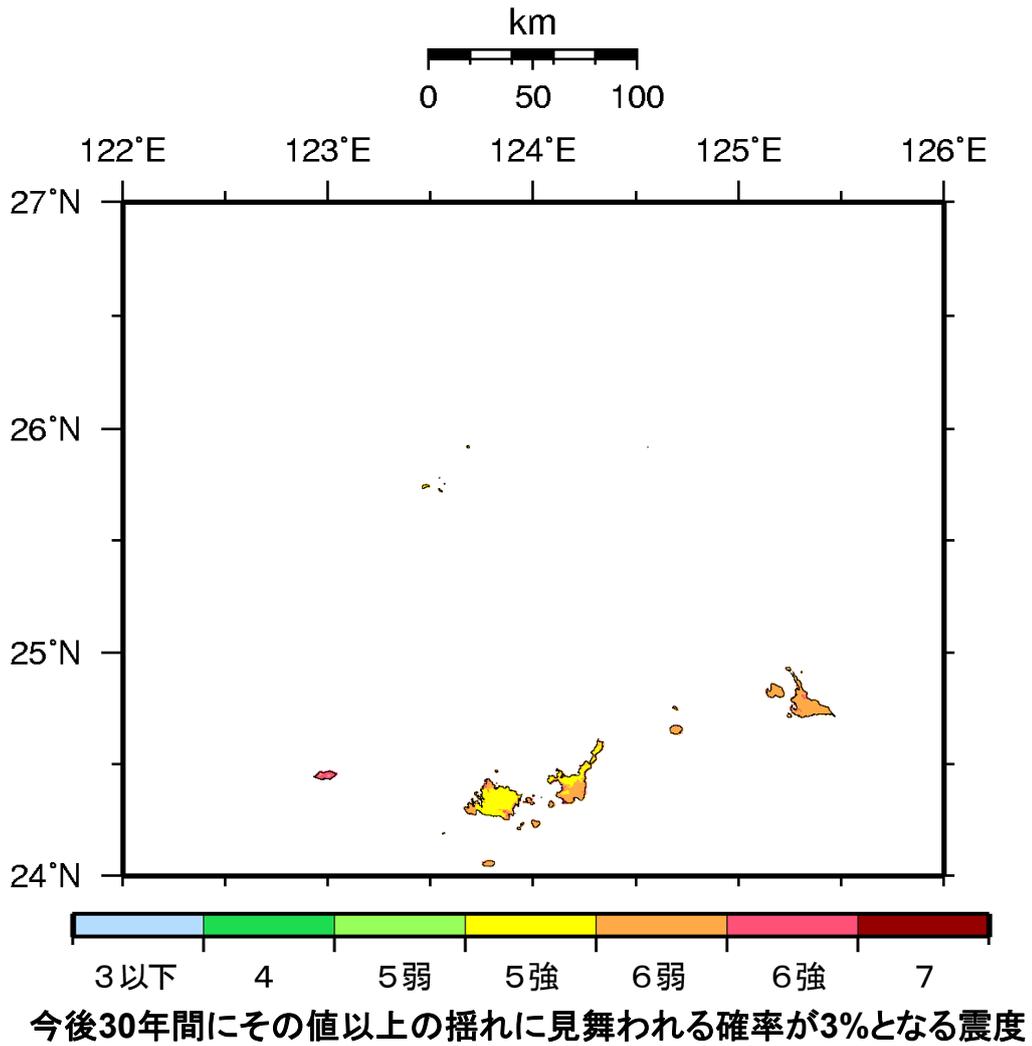
# 沖縄県(宮古島・八重山地方)



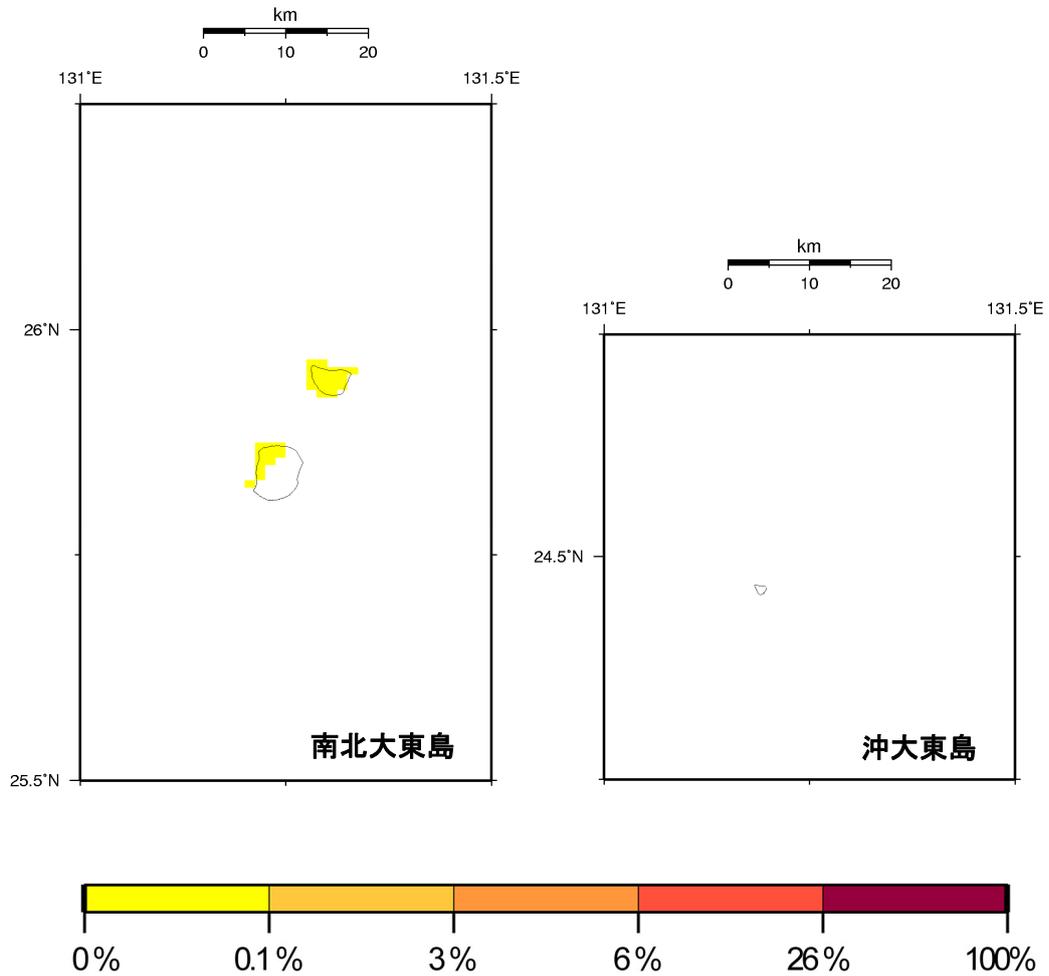
今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）

## 地図概況

沿岸の低地などでは、山地に比べると地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。



# 沖縄県(大東島地方)



今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）

## 地図概況

島内の地盤増幅率は概ね一様と考えられています。確率・震度は小さくなっています。

なお、モデル計算条件により確率がゼロのメッシュは、白色に表示されています。

